

あなたの住まい、 低コストで耐震化 しませんか？

《名古屋市住宅都市局 耐震化支援課》

1

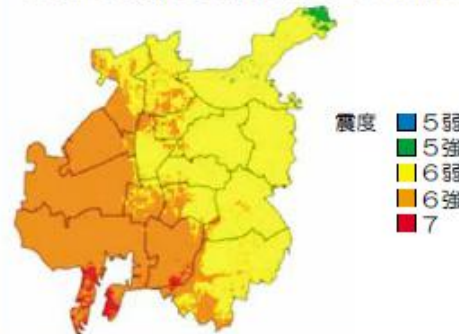
今すぐ住まいの耐震化が必要です！

今後30年以内に、70～80%の確率で南海トラフ地震が発生するとされています。
いつ発生してもおかしくない大地震に備え、あなたの住まいも耐震化をはじめませんか？

南海トラフ巨大地震の被害想定について

▼名古屋市の最大クラス震度分布図

あらゆる可能性を考慮した最大クラスの場合



住宅の全壊・焼失棟数
66,000棟

出典：名古屋市内災害被害想定調査委員会
（地震・津波被害想定）

特に危険！

昭和56(1981)年5月
以前に建てた住宅

古い耐震基準で建てられている住宅が多く、特に倒壊しやすいことが分かっています。



被害を受けた住宅を元通りにする費用は、「補強あり住宅」は「補強なし住宅」の1/4という試算結果も！

出典：名古屋三栄建設株式会社から名古屋市に提供された調査結果【耐震補強調査】【補強工事の概要】（名古屋三栄）

「あの時耐震化しておけば！」と、後悔しないようにしたいね！



2

そもそも耐震化ってどんな工事？

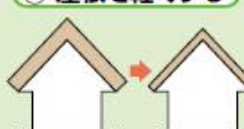
① 補強壁や筋交いを増やす



② 基礎を補強する



③ 屋根を軽くする



我が家も耐震化したいけど、費用もかかるし、工事中の引っ越しが面倒だわ...



「ちょっと待って！」
低コストで耐震化できる方法があるんです！

3 ご存知ですか？ **低コスト工法**

低コストで
安心が手に入るとは
魅力的だな！

余った予算で
リフォーム工事も
いいねえ！

**工事費を
安く抑えられる！**



工事中の
人の出入りが
気になるけど、
短期間なら心配
いらないわ！

**工事の日数を
短くできる！**



仮住まいを
探す必要がないのは
とても助かる！

ほこりも
少ないなら
工事中の生活も
心配ないね！

**住みながら
工事ができる！**



工事範囲が
狭いからゴミの量を
抑えることが
できるのね！

ご近所さんへの
騒音がする日数が
減るのはとても
助かるわ！

**周辺環境に
やさしい！**



実際に低コスト工法を使った工事の流れを見てみましょう！

4 低コスト工法～工事の流れ～

北区 K様邸

建築年：1975年（昭和50年）
構造：木造一部2階建て
延床面積：約85㎡

工期：約3週間
主な工事場所：1階…和室全体、洋室一部
2階…押入れ

工事場所を
和室に集中することで
住みながらの工事を
実現します！

◎和室の耐震化工事を参考に、工事の流れを紹介します。



工事前



天井と床、
土壁を残さないから、
解体費用を
削減できます！

1 天井と床を残したまま、
壁の仕上げを撤去します。



金物を取り付けることで
補強壁は最大の効果を
発揮します！

2 柱が抜けないよう専用の
金物で四隅を固定します。



土壁を壊さないから
土まがりが舞うことなく
工事ができます。

3 アルミアングルを取り付け後、
補強壁を取り付けます。



工事後

天井と床を
壊さないから
工事の日数が短縮
できました！

4 下処理後、
壁紙を貼って仕上げます。

コストを抑える Point ①

設計方法と工法の組み合わせ

精密診断法という計算法で設計すると、さらに工事費が安くなる場合があります！

※設計にかかる費用が高くなる場合があります。

例えばK邸の場合…

- 1階と2階で屋根の仕様が異なる
(1階は金属屋根 2階は瓦屋根)
- 傾いている柱などが建物の一部
にしかない

こんな特徴があるときは精密診断法がおすすめ！
設計方法を工夫することでさらに
工事費を抑えることができます。

設計方法と工法による 工事費の比較 《K邸の場合》



さらに
補助金
(補助率10%)
自己負担額
95万円
※詳しくは裏表紙へ

※工事費以外の費用は含まれておりません。

正確な建物の調査、精密な構造計算を行うことで、工事箇所を削減できます！

コストを抑える Point ②

工事場所の選び方

①押入れは復旧費が安い！

天井と床を残してより強い補強壁を
取り付けよう！！

②居室は復旧費が高い！

天井と床を残さずできる補強壁を
取り付けよう！

まずは、見栄えを気にしない

①押入れを補強します。
つぎに、補強壁が足りない場合
は②居室を補強する必要がある
ますが、天井と床を残さず
工事することで、お客様の
負担を軽減します！



今回、住まいの耐震化を実施した K様に感想を伺いました！



◎地震は怖いと思っていました。

最近よく地震のニュースをみて地震は怖いと認識し始め、何か対策を行わなければならないと思っていました。

そんなとき、市から無料耐震診断の案内をもらったので、申し込みました。診断結果が悪かったため、兄弟に相談したところ、やったほうがいいと後押ししてくれたので、住まいの耐震化を考えはじめました。

◎市からの補助金もあり、この金額ならできる。

耐震化を進めるにあたり、工事金額は高いだろうと思っていたので、最初は比較的低く、部屋の中に設置する耐震シェルターを考えました。そのうち、建物全体を耐震化するといくらかかるのか気になりはじめました。見積をとってみると、さらに名古屋市の補助金が出るということもあり、これならできると決断し踏み切りました。

◎実際に耐震化の様子をみて、安心できました。

住みながらの工事だったので、こちらの要望も聞いていただき、とても助かりました。工事日数は思ったより短く、また予定より早く終わったので、とてもうれしいです。実際に耐震改修工事を見た、こんな金物を使うんだ、丈夫そうなものを取り付けると、これなら大丈夫、と安心することができました。

5

低コスト工法を使った耐震化

～低コスト工法の魅力について、お伺いしました！～



低コスト工法は、
安心して使っていただける
耐震補強工法です！

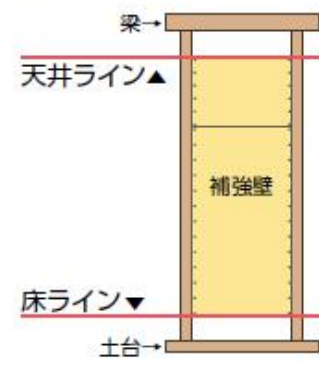
名古屋工業大学大学院教授
井戸田 秀樹 氏

新築で用いられる工法は、補強壁を土台から梁まで釘で取り付けます。この工法を耐震改修工事で使おうとすると、床と天井を壊さなくてはなりません。そこで、低コスト工法では、床と天井の間だけに補強壁を取り付けることで、床と天井を壊さずに工事ができます。(図参照)しかし、補強壁が梁と土台に届いていないため、新築の工法に比べ、強度は少し弱くなります。これまではどれだけ弱いのが分かっていなかったため、耐震改修工事で使うことができませんでした。

そこで、実験をしてどれくらいの強度なのかを調べると、新築の工法の約8割の強度があることが分かりました。(写真参照)一方、工事費は新築の方法に比べると1/2～1/3の費用で済みます。この低コスト工法を2か所取り付けると、工事費は新築の工法1か所よりも安く、強度は約1.6倍得ることができます。これが、低コスト工法の魅力です。

低コスト工法は実験で強度を確認した信頼できる工法です。低コスト工法が使える設計士さんと一緒に安心な日々を手に入れてください。

■低コスト工法



安心を手に入れるためにも、
住まいの耐震化をはじめてみませんか？

住まいの耐震化を始めるには？

「名古屋市耐震化支援制度を活用しましょう！」

Step1

無料耐震診断を受けましょう！

名古屋市が派遣する耐震診断員が調査を行います。

対象住宅 昭和56年(1981年)5月以前に着工した木造住宅
※プレハブ、ツーバイフォー工法等は対象外

Step2に
進む前の準備を
しましょう！

○補助金を申請する前に、建築士に相談しましょう！

お知り合いの建築士に相談するか、名古屋市のホームページに掲載する名簿等を参考に建築士を決めましょう。

名古屋市 耐震改修 業者

検索

※上記に掲載する名簿等は、一部を除き、耐震化支援課にて閲覧・配布しています。
名簿等は参考であり、この中から選ばなければならぬものではありません。



Step2

耐震改修工事をしましょう！

耐震改修工事費用の一部を助成します。

対象住宅 無料診断(Step1)の結果、判定値1.0未満と判断された木造住宅

補助金額 耐震改修工事費の8割以下で、以下の金額まで

	一般世帯	非課税世帯
一般改修	115万円	165万円

※工事の契約や着手の前に補助金を申請し、交付決定通知を受けてください。

その他、建築の専門家に無料で相談できる「なごや耐震アドバイザー派遣制度」もあります。ぜひ、ご活用ください。

お問い合わせ先・申込先！

名古屋市住宅都市局 耐震化支援課

TEL | 052-972-2921 FAX | 052-972-4179

〒460-8508 名古屋市中区三の丸3-1-1(市役所西庁舎3F)

